

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	06	項	01	目	06
事務事業名	南外ダム管理運営事業								
担当部署	南外支所農林建設課	4602000	電話	0187-74-3004			内線	226	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	99:該当なし
	施策の大綱	99:該当なし
	施策	99:該当なし
	施策の内容	99:該当なし
根拠法令等	県有土地改良財産管理委託協定書・河川法・南外ダム管理規程及び操作規程等	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	南外地区防災ダム事業によって造成された土地改良財産の維持管理と、ダムの目的とされるかんがいと洪水期の管理運営にあたり、かんがい用水の取水確保と災害発生時の未然防止により、農業経営の安定を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	防災ダム下流域の住民、農業者。 農業被害(農地、農業用施設、作物)、一般公共被害。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	県有土地改良財産管理委託協定書に規定する施設について、管理規定及び操作規程等に基づいて管理する。 ダム本体並びに関連する諸設備をいつでも機能しうる状態に保つための点検、整備、補修、日常の巡視、監視活動、地震発生後の機能診断等の施設の管理。 洪水調節・かんがい用水確保・流水の正常な機能維持等、ダムの所期の目的を發揮させる為の観測、制御、操作等の機能管理。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	南外地域の330haのかんがい用水を確保し、洪水期の災害発生を未然に防止することにより、農業経営が安定する。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① ダムの維持管理	日	365	365	365
	② 観測機器等等管理設備の保守点検業務委託等	件	7	13	7
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① ダムの維持管理	千円	2,520	2,780	2,453
	② 観測機器等等管理設備の保守点検業務委託等	千円	3,825	3,732	2,919
	③				
投入コスト	決算額		6,344千円	6,513千円	5,372千円
		一般財源	0千円	0千円	0千円
	人件費		9,209千円	9,338千円	9,431千円
		一般職員の年間従事人数	1.3人	1.3人	1.3人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト (決算額+人件費)		15,553千円	15,851千円	14,803千円

事業を取り巻く環境	ダム建設から32年が経過し施設が老朽化している。 老朽化に伴い施設故障が頻発しており、ダム機能停止の危険があるため、計画的な事業執行を行っている。 近年の異常気象により、局地的な集中豪雨や渇水、地震が頻発している。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	ダム機能の低下は、洪水調節・かんがい用水確保などに支障をきたし、危険な状態に直結することになり、市民の社会・経済活動に及ぼす影響は甚大なものとなる。市民の生命財産を、水害から守るための施設であり、行政が管理することは当然である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	ダムの適切な維持管理は、ダム機能の保持及び延命に寄与し、トータルコストの縮減が図られている。治水・利水は相反する機能であり、その成果は気象状況に依存するため、定量的な目標値の設定はできないが、期待された役割を果たしている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	ダム管理施設を定期的に点検を行い、消耗品等を適切に交換することで施設の長寿化が図られる。機器交換・維持管理に係るトータルコストを考慮したうえで、最適な投資計画の立案・執行が必要である。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	現状	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	現状 C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	防災・かんがい用施設として、地域に必須の施設である。経年により機械設備の劣化が進んでいることから、計画的な改修、更新により確実な機能発揮を保持して行く必要がある。